学校番号	110

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説日本史」（山川出版社）						
副教材等	「新詳日本史」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史探究は日本の歴史を原始・古代から現代までを深く学ぶ科目です。３年次では特に中世～近現代の歴史を学びます。多くの文献資料や、統計資料などをもとに、様々な出来事が起こった背景や関連性を常に考え、歴史的な見方・考え方を養うことを目的にしています。授業では、以下のことを意識しながら取り組んでください。

●「なぜ」「どうして」と問いかけ、自分なりの意見をまとめる。
●様々な出来事の関連性や背景などを資料や根拠をもとに自分なりに考えられるようにする。
●考えた意見を他の人と議論し、様々な考えに触れる。

2　学習の到達目標

① 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざす。
② 事象が生じた背景や理由を資料やデータなど用いて考察し自分の意見としてまとめることができるようになるとともに、他者との議論を通じて考えを深める態度を養う。また、図表を作成するなどして自分自身の考えをまとめたり、他者に考えが伝わるよう工夫できるようになる。
③ 課題を追究したり解決したりする活動を通して、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論しようとしている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第7章武家社会の成長～第8章近世の幕開け	資料を用いて，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，表現する活動を通して、室町幕府の成立、戦国大名の登場、織豊政権にかけての社会の動きについて理解する。	a：室町幕府の成立、戦国大名の登場、織豊政権にかけての社会、政治の動きについて理解している。 b：当時の記録や現在に伝わる文化財などの資料から、当時の社会の様子、政治の動きなどを読みとることができる。 c：室町幕府の成立～織豊政権までの流れを、多面的・多角的に考察しようとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント オンライン課題
	第9章幕藩体制の成立と展開	江戸時代の社会、政治、対外関係などに関する資料を通して、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、幕府政治について理解する。	a：江戸時代の社会、政治、対外関係などを理解している。 b：当時の記録や現在に伝わる文化財などの資料から、当時の社会の様子、政治の動き、対外関係の変遷などを読みとることができる。 c：時代を通観する問い、仮説をふまえて、江戸時代について理解しようとする態度を見せている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント オンライン課題

	第10章幕藩体制の動揺	資料を扱う技能を活用し、事象の意味や意義，関係性などを多面的･多角的に考察し，近世の国家･社会の変容を理解する。	a: 幕藩体制の変容、体制を維持するための諸改革、新たな外国勢力の圧力について理解している。 b:絵画や文字史料などから、当時の社会の様子、諸改革の内容などを読み取ることができる。 c:資料を読み取り、幕藩体制の変容について理解しようとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント オンライン課題
	第11章近世から近代へ	幕末から近代初頭の時期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的･多角的に考察する。	a:幕末～近代初頭の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解している。 b:五箇条の誓文などの史料から、近世から近代への歴史の変容を読み取って理解している。 c: 近世から近代への歴史の変容を積極的に理解しようとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント オンライン課題
	第12章近代国家の成立	資本主義の発展、議会と憲法に関する資料から適切な情報を収集し、近現代の特色について多面的･多角的に考察し，仮説を表現する。	a: 資本主義の発展、議会と憲法の内容を理解し、近代国家の成立について考察できている。 b:写真や文字史料などを読み取り、近代国家とはどのようなものかを表現できている。 c:近代国家の成立について、多面的・多角的に考察しようとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント オンライン課題

後期	第13章近代国家の展開	条約の改正や日清戦争・日露戦争が国際社会にどのような影響を与えたかを、当時の絵画や写真をの資料を読み取ることなどを通じて、多面的・多角的に考察する。	a:日本はどのような国際関係の中で行動し、新たにどのような国際関係を築いていったかを理解している。 b: 条約の条文や写真などの資料から読み取ったことを、表現できている。 c:資料から必要な情報を読み取り、それを表現することに積極的取り組んでいる。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント オンライン課題
	第14章近代の産業と生活	国民国家の形成、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を、資料を扱う技能を活用して考察する。また、資本主義社会と日本の帝国主義との関係について多面的・多角的に考察する。	a:明治期の産業の発展と資本主義社会の成立と日本の帝国主義との関係について理解している。 b: 資本主義の発展と生活に関する資料を通して読み取れる情報から、近現代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現できている。 c:資本主義の成立と、次の内容とのつながりについて理解しようとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント オンライン課題
	第15章恐慌と第二次世界大戦	資料を扱う技能を活用することで昭和恐慌前後の経済政策と立憲政治の動揺について理解し、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を考察する。	a:日本の経済状況と世界大戦に至るまでの過程、またその関係性を十分に理解している。 b:大戦までの過程を理解するのに必要な情報を,新聞記事や写真などの資料から読み取り、それを適切に表現できている。 c: 大戦中の政治・社会、国民生活の変容を積極的に理解しようとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント オンライン課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度